

雲の上のまち



た報

けすばら



秋季全国火災予防運動パレード

栲原町老人クラブ連合会「2021活動賞」を受賞〈P2〉

祝・叙勲 木原 正利氏 瑞宝単光賞 受章〈P4〉

前教育委員 掛橋水和氏が教育行政功労者表彰を受賞〈P4〉

若者定住対策審議会「栲原町自然体験ツアー」開催〈P5〉

etc...

12 **2021**
〈令和3年〉
No.762
月号

- 世帯数／1,759 (10月末)
1,758 (11月末)
- 人口／3,349 (10月末)
3,347 (11月末)
- 出生… 1 ○死亡… 5
- 転入等… 6 ○転出等… 4

「2021活動賞」を受賞



全国老人クラブ連合会では、活動の内容や取り組みの創意工夫が他の模範となる活動に取り組んでいる老人クラブに対して賞を贈り、優良事例の掘り起こしや活動への意欲増加につなげていきます。

この度、梶原町老人クラブ連合会(町老連・山中照亞会長)が、日ごろの「仲間づくり」を意識

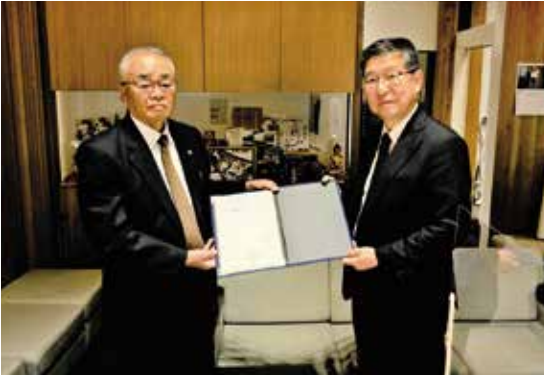
しての取り組みを評価され「活動賞」を受賞しました。町老連は「健康・友愛・奉仕」を柱に活動を行い、コロナ禍で集いの場が激減する中で「高齢者の集う場」「人や地域との関わり」を大切に行っています。感染

対策を行いながら軽スポーツやミニ芸能大会の集いなどを、介護予防活動を通して継続してき

ました。また、見守り訪問チームを作り、独居の方や高齢世帯の訪問活動を行っています。話し相手や情報提供、町老連の事業へのお誘いなど、つながりを大切に活動を行い、体調不良や困りごとの相談があった場合は、行政など関係機関につなげ、訪問時以外でも声を掛け合える支え合いにつなげていきます。

また、見守り訪問チームを作り、独居の方や高齢世帯の訪問活動を行っています。話し相手や情報提供、町老連の事業へのお誘いなど、つながりを大切に活動を行い、体調不良や困りごとの相談があった場合は、行政など関係機関につなげ、訪問時以外でも声を掛け合える支え合いにつなげていきます。

て開催するとともに、東京パラリンピックで注目された「ボッチャ」競技にも早くから取り組んできました。高校生との交流や梶原町障害者連盟との交流など、コロナ禍の中でも人と人とのつながりを大切に活動を継続しています。会員、非会員を問わず参加できる活動を増やしたことが、今回の受賞と会員の増加(特に60代の会員)にもつながったようです。



町長に受賞を報告する山中会長



ミニミニ運動会



奉仕活動



見守り訪問

これからも、高齢者の健康と町老連の活動に、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

【問合せ先】

事務局／

梶原町社会福祉協議会

☎ 65・1235



秋季全国火災予防運動 パレード・広報活動

11月9日(火)、午前8時40分から梶原消防団幹部及び団員・女性消防隊、梶原こども園幼年防火クラブ員(梶原幼稚園児)・梶原駐在所員・津野山分署職員の総勢46名が中町から総合庁舎まで「全国一斉秋の火災予防運動」のパレードを行いました。

コロナ禍のため、こども園は年長組のみの参加となりました。火の用心の法被を着た梶原こども園幼年防火クラブ員が、駐在所パトカーと消防車の先導のもと「火の用心」の音楽に合わせて



て大きな声で「戸締り用心、火の用心」と歌いながら、園児手作りのペットボトルや保護者手作りの大小様々な拍子木を鳴らしながら行進しました。沿道の多くの方から声援と拍手が送られました。

総合庁舎前でパレードを終了すると、吉田町長から園児の皆さんにパレードのお礼と火の用心のお話をいただきました。

その後、消防団員と女性消防隊員は、消防車両7台に分乗して町内全域への火災予防広報活動に出発しました。

期間中各消防団では、管轄内での火災予防広報活動、機械器



具や水利の点検を実施し災害に備えました。

火災予防運動期間中、町内での火災発生はありませんでしたが、これからは空気が乾燥し季節風も強くなり火災が発生しやすい気象状況となります。また、河川は水位が低下し、消防水利として活用出来ない事も考えられますので、火の取扱いや後始末には十分注意をして火災を起こさないようお願い致します。

令和3年度全国統一防火標語は「おうち時間 家族で点検火の用心」です。火の用心にご協力をお願い致します。

総務課

第23回雲の上杯争奪 ゲートボール大会

11月5日(金)、大越グラウンドで、町内外4市町から9チーム(うち町内4チーム)が参加し、第23回雲の上杯ゲートボール大会を行いました。

この大会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2年ぶ



優勝された長寿会の皆さん

りの開催となりました。

当日は天気にも恵まれ、参加者47名は近隣市町村との交流を深めながら、ゲートボールを楽しんでいました。

各チーム熱戦の末、長寿会(梶原町)が優勝という成績を収めました。大会の結果と参加チームは次の通りです。

- 【優 勝】長寿会(梶原町)
 - 【準優勝】中央衛星会(梶原町)
 - 【第3位】にしとさ(四万十市)
- その他の参加チーム

- (松野町) 久留美会・森の國・吉野シルバー長生会
- (久万高原町) 美川
- (梶原町) 川西路・親和会

生涯学習課

祝・叙勲 木原 正利氏 瑞宝単光賞(危険業務従事功労)受章

警察や消防などの従事者を対象とした危険業務従事者叙勲が11月3日に発令され、元・高幡消防組合 消防司令の木原正利氏(南町)が瑞宝単光章を受章されました。

木原氏は昭和47年1月に高幡消防組合に消防吏員として採用され、昭和53年5月に海上自衛隊の対潜哨戒飛行艇P3・C型機が久保谷の一の谷山に墜落した際には、搜索活動と指揮本部で情報が錯綜している中、無線連絡を積極的に行い、事故現場と指揮本部との連絡調整を献身的に行い迅速な救助活動に貢献さ



れました。また、昭和63年4月に発生した松原区での大規模な山林火災の際には、分隊長として消火活動を指揮するなど、40年3ヶ月余りの永きにわたり、規律厳正に消防技能と教養の向上に励み、常に献身的に消防活動に努力をほらい、消防の使命達成にご尽力されました。

総務課

前教育委員 掛橋水和田氏が 教育行政功労者表彰を受賞

10月27日に文部科学省で行われました、令和3年度地方教育行政功労者表彰式で、前梼原町教育委員の掛橋水和田氏(東町)が表彰され、過日、町長室において、吉田町長より表彰状が手渡されました。

掛橋水和田氏は、平成21年5月より11年の永きにわたり教育委員として活躍され、その間教育委員長として1年6ヶ月、梼原町の教育行政に携わり、教育の一貫した指導体制にご尽力い



ただきました。

幼児教育では、1歳児から5歳児まで一貫した保育教育が受けられるよう町内幼稚園の統合に尽力され、現在の「幼保連携型梼原こども園」として梼原町の未来を担う子どもたちの保育・教育の場となっております。

また学校教育では、小・中学校の義務教育9年間を通じた教育に向け、平成23年4月の小中一貫教育校「梼原学園」の開校に向けご尽力いただきました。

社会教育においても、学校と学校に対応した地域との連携の構築を図り、地域全体で学校教育を支援していく仕組みづくり、「学校支援本部」「梼原町放課後

子ども教室」「梼原町学校応援団」の立ち上げにもご尽力いただきました。

今後も、掛橋氏の柔らかいお人柄で梼原町の教育を見守っていただき、お力を貸していただきたいと思えます。

生涯学習課

第2回梼原町太郎川公園 再生検討委員会について

11月17日(水)、第2回梼原町太郎川公園再生検討委員会が開催されました。

今回の検討委員会では、雲の上のホテル、レストラン等について知っていることや感じていたこと、また今後どのような姿が望ましいのかということや議題として議論が行われました。ホテルの規模や経営について、町内を訪れる観光客の現状、町に足りないものといった様々な意見が各委員から出され活発な議論が行われました。

また、今後のスケジュールについて、第3回を12月9日、第4回を12月22日に開催することを決定し閉会しました。

産業振興課

若者定住対策審議会

『桤原町自然体験ツアー』開催

10月24日(日)、若者定住対策審議会が主催する桤原高校生を対象とした「桤原町自然体験ツアー」が開催されました。

若者定住対策審議会では町長より諮問された、「子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷・桤原へ」の実現に向けて、桤原6区の地域をより魅力的にする、若者の動きとは「の答申」に向け、若者(次世代を担う高校生)が桤原町の魅力を発見・再確認



九十九曲峠セラピーロード散策



BBQを楽しむ高校生



薪割りに挑戦

し、暮らしてみたくなるまちづくりについて話し合っています。今回、全校生徒の内、半数以上が町外出身者の桤原高校生を対象に桤原町自然体験ツアーを企画し、当日は12名の高校生が参加してくれました。

午前中は西区宮野々にある九十九曲峠セラピーロードの散策を行いました。緑溢れる自然の中で高校生たちは珍しい植物に触れたり、写真を撮ったりして、セラピーロードの「癒し」を感じていました。

午後は西区広野のキャンプ場

にてBBQとキャンプを体験しました。ジビエ肉や桤原川の鮎を食べ、桤原町にある自然の恵みあふれる食材を知ってもらいきっかけになりました。そして、ハンモックでくつろいだり、薪割りを体験したりしながら自然の中で一日を過ごし、桤原町の魅力を発見するきっかけになったようです。

ツアーを通して高校生たちからは「セラピーロードの写真をSNSにアップすれば、興味を持つ人が増える」「体験型ツアーを増やし、参加人数が多くなると若者の間で町内を回ろうと思うきっかけになるのでは」といった意見をいただきました。この貴重な意見を参考に若者が魅力を感じる桤原町を目指し、答申に向け取り組んでいきたいと思えます。

第11期若者定住対策審議会事務局 まちづくり推進課

桤原町長選挙 選挙結果

任期満了に伴う桤原町長選挙が12月5日に行われました。

桤原町長選挙の立候補者は、いずれも無所属で、現職の吉田尚人氏と元町議会議員の高橋基文氏。人口減対策や教育環境の整備、福祉の充実や森林を活用したまちづくり、雲の上のホテル建替えを核とする観光活性化などで論戦が繰り広げられました。町長選挙ということもあり、住民の関心も高く、最終的な投票率は、85.01%となりました。投票結果は次のとおりです。

【桤原町長選挙】

当	吉田 尚人	1,501 票
	高橋 基文	951 票
	当日有権者数	2,915 人
	当日投票者数	2,478 人
	有効投票数	2,452 票
	無効票	26 票
	投票率	85.01%



梶高だより



産業班

ゆすはら大学に参加

10月30日(土)、総合的な探究の時間で梶原の特産物を用いた商品開発に取り組み産業班が、ゆすはら・夢・未来館で開催された「第14回ゆすはら大学」に発表者として参加させていただきました。ジビエグループはイノシシ皮革を利用した商品開発について、和菓子グループは餡にブルーベリーやサクラ、キムチを用いた津野山神楽をイメージした饅頭づくりについて、また米班は煎餅と米粉を用いたイタドリ餅とクレープづくり、そして米粉を使ったバスボム(入浴剤)づくりについて発表をさせていただきました。今回、会場からいただいた「その商品の値段はいくらの設定?」という質問や、さくらクラブ中越さんの取り組みは、商品開発のゴール設定について振り返る大変良い機会となりました。また、学年進行でメンバーが変わると内容も変わり、継続性についての課題について考える良い機会となりました。

高知県高等学校総合文化祭 ディスカバークラブ 第2位優秀賞

11月13日(土)、高知県高等学校総合文化祭・郷土芸能部門が高知市文化プラザかるぼーとで開催されま

した。本校ディスカバークラブは津野山神楽「鬼神退治」を発表しました。この総文祭に向けては総合的な探究の時間はもちろん、直前1週間の集中練習と舞手は毎木曜日に神楽保存会の練習会にも参加させていただき準備をしてきました。当日は緊張もありながら楽・舞とも立派に発表し、優秀賞をいただきました。郷土芸能に取り組み県内の高校団体としては本校と追手前高校吾北分校(和太鼓)、明德義塾高等学校(和太鼓、詩吟)の4団体で、神楽は本校のみでした。今回は1・2年生のみの編成でのチャレンジでしたが、これに向けての練習で得た一体感と受賞を励みに、また保存会の皆様の心強い支援をいただきました。がら今後もしっかりと練習に取り組み豊かな文化を繋いで行きたいと考えています。



第38回文化祭 燕神祭開催

11月26日(金)・27日(土)、隔年開催の文化祭(燕神祭)を開催しました。テーマは「ポップコーン・はじける青春」。強風で中庭での実施分を急遽変更するなど、ハプニングはありましたが、初日の校内発表は午前中にクラス単位でのオリジナル劇やダンス、歌唱と1年音楽選択生徒のギター演奏&合唱&ダンスパ

フォーマンス、音楽部(吹奏楽・軽音楽)の演奏や歌唱、そしてディスカバークラブによる「山探し」鯛釣り」の発表等を行いました。また、前回の発表でリクエストのあったおやじバンドと生徒のコーラボ演奏もありました。この日の午後と翌日の一般公開では、クラスごとの模擬店や一年生書道及び美術選択生の作品展示、農業コース・家庭ビジネスコースやグループ「いのかわ」による生産物・作品の展示・販売等を行い、多くの保護者・地域の皆様にご来場いただき、生徒への温かいお声掛けをいただきました。他にもPTAによる物品販売や東京大学フロンティアランナーズと生徒との共催によるボードゲームやクイズ大会などの実施もあり、文化祭を盛り上げていただきました。

開催にあたって国内及び県内でのコロナウイルス感染症対策の状況に鑑み、マスク着用や手指消毒、来場者カードへの記入など、ご観覧の皆様のご協力により開催できましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



梶原学園だより

【小中一貫教育研究発表会】

11月18日（木）に、小中一貫教育研究発表会が行われました。これは、梶原学園が小学1年生から中学3年生までの9年間を見通した教育を行っている成果を発表するものです。合わせて5年前から導入したiPadを活用した教育の成果も発表しました。



公開授業は7年生の数学。中一ギャップが危惧される学年ですが、5年生から制服を着用し、中学校棟で学習してきたため、自然な流れで中学生となった感があります。

ります。生徒たちは5年生の時から使ってきたiPadとApple Pencilを使いこなし、グループでの意見交換などをしながら課題を解決して行きました。今、スタンダードとなりつつある「課題解決」「ICT活用」「グループ学習」。

それらを自然に行う生徒たちの姿は、梶原学園の誇りのように感じられました。

講演は高知大学教育学部准教授の服部裕一郎先生が行いました。興味関心を持たせ、やらされる授業ではなく自分からやる授業をいかにして構成するかなど、授業のヒントとなる事柄についてデータを示しながら説明してくれました。子どもたちの「分かった！」の笑顔のために、これからも努力を続けます。

【走り方教室】

立命館大学スポーツ健康科学部講師の友草司先生が中学生を対象に「走り方教室」を行いました。雨天のため体育館での講義と実習となりましたが、生徒たちは、真剣に講義を聴き、実習では笑顔を



取り組む姿は清々しく感じました。

【プログラミング学習】

6年生の図工でiPadを使ったプログラミングの授業が行われ、校外から来られた先生方と校内の小学校の先生に公開されました。「Viscut」というプログラミング教材を使って、児童たちが思いのクリスマスイルミネーションを器用に作っていました。



見せながらお互いの呼吸を合わせバトンパスに挑戦していました。思春期の中学生が、これほど素直に前向きに笑顔で授業に

「プラタモリ」「日本人のおなまえ」的に、ふと思った事

4月に梶原学園に赴任し、毎日、四万十川中流の窪川から上流の船戸まで、そこからは197号を通って通勤している。試みに、窪川から大正を經由し、梶原川に沿って通勤できたかと思ひ、休日に時間を測ってみた。すると、近道（林道）を通ったにも関わらず、30分多くかかる事がわかった。ふと思った「梶原川って長いなあ」と。かつて、四

国で一番長い川は「吉野川」とされていた。しかし、源流点までの距離を測りなおしてみると、四万十川の方がわずかに長く一番となった。そういえば、昔、四万十川の本流を決めるとき、梶原川がわずかに短く、支流となったと聞いたことがある。もし、今、太田戸の奥にある梶原川の源流点までの川の長さを測りなおしたら、梶原川が本流になるのでは。もしそうなら、梶原川が四万十川になり、梶原学園は「四万十川」に近い学校、「四万十川源流の学校」として有名になるかも。でも、町の名前が川の名前となり、学校の名前となっていて、今がいいのかとも思った。四万十川の名前の由来の一つとして、梶原町の「四万川」と四万十町の「十川（とおかわ）」がくっついたとの説がある。NHK番組「日本人のおなまえ」で「お名前は（時を超えたタイムカプセル）とのくだりがある。本校の学校目標にある「梶原人」として、児童生徒が成長し「梶原」という名前に愛着と誇りを持って羽ばたいてもらいたいと、ふと、今思った。

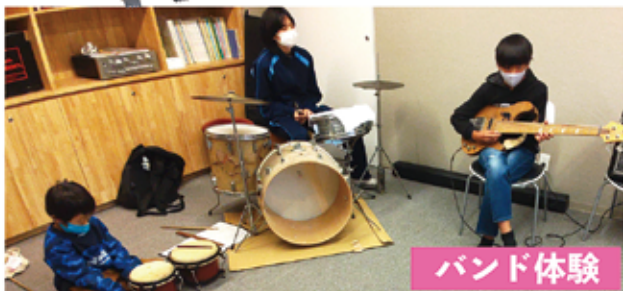
http://www.yusharagakuen.jp/
一部の記事はホームページでも見ることができます。



雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎65-1900

図書館秋まつり2021 ご参加ありがとうございました！



バンド体験

意外と簡単！カッコいい音が出たかな？



ダンス体験

憧れのダンスレッスン！またやりたい！



ギターコンサート

一流の音に感動！私にも弾けるかな？



かわぞえうどうワークショップ

自分だけの可愛いキャラが出来たよ！

イベントを多数開催しました

体験を通じた新しい発見の数々

普段の生活では体験できない、様々な舞台芸術や創作活動。高知県内から優れた技術を持つ講師を迎え、梶原の皆さんに表現の世界を体験していただきました。そして食を通して梶原の伝統文化を創造、継承している集落活動センターの皆さんには、図書館を訪れた方に梶原の魅力を伝えていただきました。体験教室の数々には早くも次の開催を望む声が寄せられています。梶原生活に密着した文化の発信と憩いの空間、雲の上の図書館をこれからもよろしくお願いします。



うまいもん市

各地区の集落活動センターが集結！



演劇体験

お芝居って楽しい♪もっとやりたいな！

1月の休館日(3日は18時まで)

1、2、4、11、18、25、28日

- 来館時、3つの約束
- ・マスクの着用(2才~)
- ・手指の消毒
- ・滞在時間は短めに

対策実施中



高幡租税債権管理機構及び土佐市からのお知らせ

税金滞納で差し押さえた不動産 7 物件を公売します！

● 公売とは

「公売」とは、滞納税に充てるために差し押さえた財産を売却することです。具体的には、公売会場において見積価額以上の金額を入札していただき、最高価額の入札者に売却していくもので、裁判所の行っている競売に類したものです。

● 高幡租税債権管理機構及び土佐市の方針

行政サービスを支える財源の確保に向けて、差し押さえた財産は、随時、公売を行って税収に充てています。滞納の解消、税収確保のために多くの皆さんの参加をお待ちしています。

● 不動産合同公売会

日時 令和4年2月7日(月) 開場：13時30分 入札：14時～

会場 須崎市総合保健福祉センター 2F会議室



※今回は、高幡租税債権管理機構及び管内市町との合同公売会の形式で、宅地や農用地などを売却します。
なお、公売物件の所在地は、土佐市、四万十町になります。

番号	出品団体	所在地		地目・種類等	登記地積 (㎡)	登記床面積 1階 (㎡)	登記床面積 1階以外 (㎡)	見積価額 (千円)	保証金 (千円)	指定の状況		備考
										都計法	農振法	
10	土佐市	土佐市	出間丁田	田	1,352.00	-	-	780	78	非線引区域	農用地	管理者有
11	高幡租税債権管理機構	土佐市	宇佐町宇佐字橋田	宅地・居宅	158.67	51.51	15.52	126	不要	非線引区域	-	
12		土佐市	中島西大垣	宅地・居宅	915.70	71.02	27.08	1,000	100	非線引区域	-	
13		四万十町	茂串町	宅地	99.00	-	-	1,300	130	非線引区域		借地者有
14		四万十町	高野字サクラ谷	田	4,312.00	-	-	130	不要	-	農用地	耕作者有
15		四万十町	高野字桜谷	田	2,013.00	-	-	110	不要	-	農用地	耕作者有
16	四万十町	高野字岡屋敷	田	1,662.00	-	-	310	不要	-	農用地	耕作者有	

- ・滞納整理状況等によって、出品物件の公売が中止になる場合がありますのでご了承ください。
- ・公売や物件の詳細は、高幡租税債権管理機構のホームページの閲覧もしくは下記連絡先にお尋ねください。
- ・公売物件の「現地案内」は、個別に対応します。

● 入札に必要なもの

- ・公売保証金は、上記公売物件一覧の保証金欄へ金額記載のある物件に限り必要（現金納付に限る）
- ・身分証明書（免許証、マイナンバーカード等の顔写真のある証明書類）・印鑑（認印で可）
- ・法人の場合は、登記事項証明書及び代表権を有する者以外が入札する場合は委任状が必要
- ・陳述書（暴力団員等でない旨 様式等は、高幡租税債権管理機構ホームページからダウンロード下さい）
- ・委任状（代理人が入札に参加する場合のみ 様式は高幡租税債権管理機構ホームページからダウンロード下さい）
※「農用地」の入札を行う場合は、物件所在地の農業委員会が発行する「買受適格証明書」が必要です。
- ・物件所在地以外の市町村に居住の方は、事前に居住地の農業委員会で「農業経営証明書」取得が必要です。

■ 買受適格証明書の申請期限及びお問い合わせ

- ・土佐市農業委員会 令和 4年1月7日 ☎ 088-852-7738
- ・四万十町農業委員会 令和 4年1月7日 ☎ 0880-22-3114

● 注意事項

保証金納付期限 2月7日(月)14時(見積価格が50万円を超える場合は、10%以上の額と定められています)
買受代金納付期限 2月28日(月)14時(買受代金は落札額から保証金を控除した金額です)
所有権移転登記 費用負担と住民票等の提出を条件として、執行機関が代行することができます。

● 公売物件に関するお問い合わせ

- 高幡租税債権管理機構 須崎市山手町1-7 ☎ 0889-40-0911
- 土佐市役所税務課 土佐市高岡町甲2017-1 ☎ 088-852-7629



行政のサービスは、皆さんの税金で支えられています！

1月の行事予定

- 3日(月) 体育始め
成人式
- 8日(土) 環境整備デイ
- 11日(火) 栲原こども園3学期始業式(幼児組)
栲原高校3学期始業式
- 11日(火) 栲原学園3学期始業式
- 18日(火) 栲原高校修学旅行(22日まで)
- 19日(水) 行政相談
- 20日(木) 栲原町交通安全の日
- 22日(土) 栲原学園人権参観日

1月の保健福祉課行事予定

- 7日(金) 初瀬いきいき
- 11日(火) 小児健診(終日)
- 12日(水) 松原サテライト
- 13日(木) 越知面デイ
サロン(えくぼ)(東区宅老)
四万川宅老
- 17日(月) げらげら家族会
- 18日(火) 小児健診(午前)
- 20日(木) 四万川宅老
- 21日(金) 東区いきいき
- 27日(木) 四万川いきいき

毎 週 月 曜 日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～

※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。

毎 週 水 曜 日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。

(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

ゆすっこ相談センター相談日 4日(火)半日、18日(火)半日、25日(火)半日

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 17日(月)、18日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。



※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【広報へのご寄付】

間宮千代子 様 (神奈川県)

【ふるさとづくり寄付金】

森山 政男 様 (高知市)

浅野 祐一 様 (高知市)

魚田 明男 様 (岡山県)

塩田 千穂 様 (東京都)

郷久保圭一 様 (東京都)

中平 愛 様 (東京都)

山田 祥子 様 (千葉県)

皆川 律子 様 (福島県)

二瓶 章 様 (埼玉県)

中井 義紀 様 (奈良県)

五十嵐正樹 様 (大阪府)

小笠原三代子 様 (愛知県)

【その他のご寄付】

中越 和仁 様 (大蔵谷)

故・中越澄子氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)

西村 美子 様 (中町)

土地の寄付



文化

橿原町文化協会通信
活動現場におじゃまします

【杉の子俳句会】

火曜日の午後、図書館多目的室からは朗々と俳句を読み上げる声が聞こえてきます。読み込む季語を事前に決め、各自が創意工夫を凝らして仕上げてきた個性的な句の数々。当日は詠み人の名前を隠した状態で投票を行います。選ばれた句の作者に賛辞を送った後は、感想を述べたり制作にあたってのエピソードを尋ねたり。今回は宇和島市と四万十町からゲスト俳人をお迎えしての特別会ということで、いつもにも増して活発な意見が飛び交います。わずか17文字から湧き上がる多様な情景に、まるで絵画や写真を



を見るような楽しさを感じました。普段何気なく読んでいる俳句。それにかかる俳人たちの熱い思いを感じた、ある冬の日でした。
橿原文化協会

烏帽子俳句会

働哭はここまでとせむ月冴ゆる

瀬戸口登真恵

ポン菓子の爆音秋の空を抜く

西村 智子

砂浜に軽石幾重神の留守

古野 節子

銀杏散る川向い人近くする

下元 澄子

吹きだまり落葉を蹴って掃きにけり

ヒネ・バンビ

幼子の手話の手包む小六月

宮崎真由子

あるはずの物がなくなり冬隣

中越 律子

一陣の風落葉時雨のきらめけり

岩元 芙美

風吹けば生き物めきて飛ぶ落葉

温地あゆみ

峡の空柚子は愉しきいるとなる

千光寺昭子



杉の子俳句会

真向ひに石鎚山や大花野

藤原佳代子

ありがとう解体ホテルと鯛雲

掛橋 初子

里神楽鬼の腕に眠る嬰

久岡 智子

寂聴の人生すべて秋蛩

明神伊佐子

宮様の嫁入無情冬に入る

影浦 鉄心

脱藩の血染めの足袋や大花野

今城 真人

枯草をつけて疲れた猫もどる

大崎みなと

曾孫来て長ナス持ちて大はしやぎ

西村 蓉子

滝飛沫受けて輝く紅葉かな

西村 幸枝

冬西日後部座席の政策論

内野 純子

晴れた日のはしやがない子の運動会

氏原 陽子

カルストの花野に低空米軍機

川田 早苗

柚子の木俳句会

下り来て紅葉の盛りセラピーロード

西村由利子

犬想う毛布ひろげる夕時雨

西森 誠子

団栗に園児笑顔で唄が出る

中平 忠雄

月食の月欠けるほど月明り

渡辺 瑞枝

袖風呂に手足伸ばしてリフレッシュ

中越 秋子

どんぐりの帽子で天地定まりし

広瀬 卓雄

●おめでた

住所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者
中 平	村田 蘭	女	R3.11.8	村田 将人

●おくやみ

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
川 西 路	四手 正子	女	R3.11. 2	94	本 人
東 町	下元 薫	男	R3.11.12	88	本 人
永 野	中越勇次郎	男	R3.11.20	72	本 人
川 井	田邊 盛幸	男	R3.11.24	88	田邊 弘
文 丸	高橋 幸子	女	R3.11.26	92	本 人

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています

「ごみとついで学ぼう！」

10月23日(土)、雲の上の図書館で、梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会と雲の上の図書館とのコラボ企画「ごみについて学ぼう！〜ゆすはらごみの相談窓口 With わくわくワークショップ〜」と題して、10月から始まったペットボトル等の分別収集や、ごみの減量についてのPRイベントを開催しました。



どんなグライダーにしようかな？

午前中はわくわくワークショップとして、発泡スチロール製の食品トレーを再利用した手持ちグライダー作りを行いました。食品トレーを切ったり、色を塗ったりして、思い思いのグライダーを完成させました。より長く飛ばすにはどうすればいいか考えながら遊ぶ姿も見られ、参加した子どもたちもリサイクル工作を楽しんでもらえました。

午後からは、ごみの分別など



大人も子どももクイズに挑戦！

についてのクイズコーナーを開催しました。リサイクルマークや梶原町で発生した可燃ごみの量などの出題に、大人も子どもも真剣に考える姿が見られ、

ごみに関する関心の高さがうかがえました。また併せて開催した分別についての質問コーナーでは、「子どもたちから「固いおもちゃはどこに捨てますか？」といった質問が出たり、「SDGsの時代なので分別は大事だと思う」といった意見なども寄せられました。

ワークショップやクイズを通して、ごみの問題やリサイクルを身近に感じてもらえる機会になりました。

本協議会では、これからもごみの減量や分別についての啓発活動や、生活に沿った仕組みづくりなどに取り組んでまいりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

環境整備課

編集後記

10月中旬頃までは、真夏のような暑さが続いていましたが、急に寒波が降りて来て、何かととまどった方もいたのではないのでしょうか。

おもえば、年明けからコロナウイルスの感染者の急増で大変でした。今は、だんだん落ち着いて来たようで、少しは明るいニュースも聞かれるようになりました。

今年は天候が不順で、稲作があまりよくありませんでした。普段は消毒などほとんどしなかったのに、今年は何回も必要でした。気候変動のせいか年々米も作りにくくなるように思います。

世界は温暖化対策に向けて、少しずつですが動いているようです。先日のCOP26でも、世界の気温上昇について「1.5度に抑えるための努力を追求する」と、決議されました。

現在、各国の自動車メーカーはもろろのこのと、日本でも各メーカーが従来のガソリンエンジンから電動化へ、水素燃料の研究やバイオ燃料の開発に取り組んでいます。

人類は必ず経済活動と自然環境の保護を、両立できると信じています。我々も日々、気をつけていきたいものです。

今年も残りわずかとなりました。元気で新年を迎えられますように…

広報編集委員会